

南小だより・開校記念日号

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

児童一人一人の生きる力と夢を育む南小

～ さわやかなあいさつ きれいな学校 ～

平成27年9月16日

第7号

川越市立高階南小学校

高階南小学校は46才！

9月16日は、高階南小学校の開校記念日です。昭和44年に高階小学校の分校としてスタートしてから46年目を迎えました。今日は、高階地区の歴史や高階南小学校の開校当時の様子等を紹介しながら、本校の歴史について振り返ってみたいと思います。

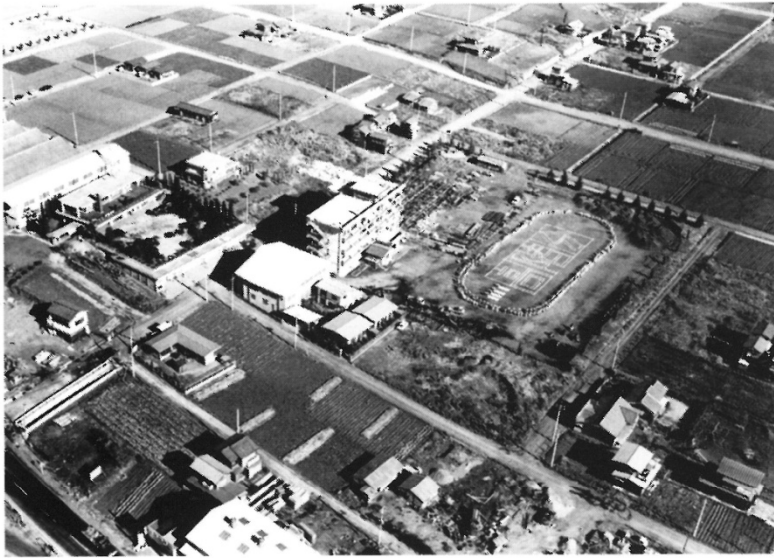
『高階』という地名は、もともと平安時代の古い書物にも出てくる地名だそうです。明治22年の町村制施行により、砂新田、砂、扇河岸、上新河岸、下新河岸、寺尾、藤間の7ヶ村が新たに1つになって、高階村が誕生しました。そしてさらに、昭和30年の町村合併促進法により、高階村は川越市に合併されました。地区名として、高階地区という名称が残りました。

昭和38年から42年にかけて、この高階地区で土地区画整理事業が行われました。高階地区の方々が土地を出し合って、総合的な開発をしていこうというものでした。最初から計画的に街を作ったため、道路もまっすぐで、公園もたくさん作られました。この土地区画整理事業により畑が多かったこの地区にたくさんの住宅ができ、人口が増え、当時の高階小学校だけでは校舎がたりなくなってしまったそうです。そして、昭和44年4月1日に川越市立高階小学校分校が開校されました。この分校が、高階南小学校の始まりです。最初は、高階小学校の校舎を借りたり、プレハブの校舎で勉強したりもしたそうです。翌年、昭和45年に校舎も完成して分校が廃止され、9月16日に開校式が行われて高階南小学校となりました。この9月16日が、開校記念日となりました。

現在の本校の児童数は384名ですが、開校当時は540名、昭和52年には1490名の児童が学んでいたそうです。今の児童数の4倍近い人数の児童が、高階南小で学んでいたこととなります。現在の児童数からは想像ができない人数です。本校を卒業された保護者の皆様、地域の皆様もたくさんいらっしゃると思います。この機会に、当時の高階南小学校や高階地区の様子、遊びのこと等について、子どもたちに話していただけたらと思います。

今、高階南小学校の児童は、毎日たくさんの安全ボランティアや保護者・地域の方々に見守られ、安心して登下校ができていますが、分校当時の高階小学校への登下校でも、既に保護者や地域の方々にご協力をいただいていたと伺いました。開校46年の歴史は、保護者・地域の皆様に支えていただいた歴史でもあることを再認識いたしました。深く、感謝申し上げます

私たち教職員も、開校46年の歴史の重みを感じながら、高階南小学校と子どもたちの教育のために尽力してまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



1969年（昭和44年）分校当時の写真

1970年（昭和45年）に教室も完成して、9月16日に開校式を行ったんだ。この日は、今は開校記念日になっているね。

校章のひみつ



タカシナ南小と書いてあるね。知っていたかな？

▼は川越市の木であるカシの葉をデザインしている。葉っぱが三枚で川越市の「川」の字をあらわしているよ。ちなみに、校旗はみんなで話し合っ
て、平和の象徴である緑を選んだ。『若い力が新しい芽を吹き出す子どもたちをさして、無限の発展を期する様』を表しているんだよ。



1970年（昭和45年）高階南小学校開校当時の写真